研究の概要

1　研究主題

研究主題

「主体的に考え、豊かに表現する児童の育成」
～ICT機器を利活用した授業デザインを通して～

学習の主体者として
能動的に学び続ける児童の育成

令和４年度，5年度→スクールタクト（授業支援アプリケーション）

令和５年度3月，６年度

Google
ワークスペース

複線型授業

2　研究内容

問題解決型・課題追究型　授業 デザイン

A
課題の設定

B
情報の収集

C
整理・分析

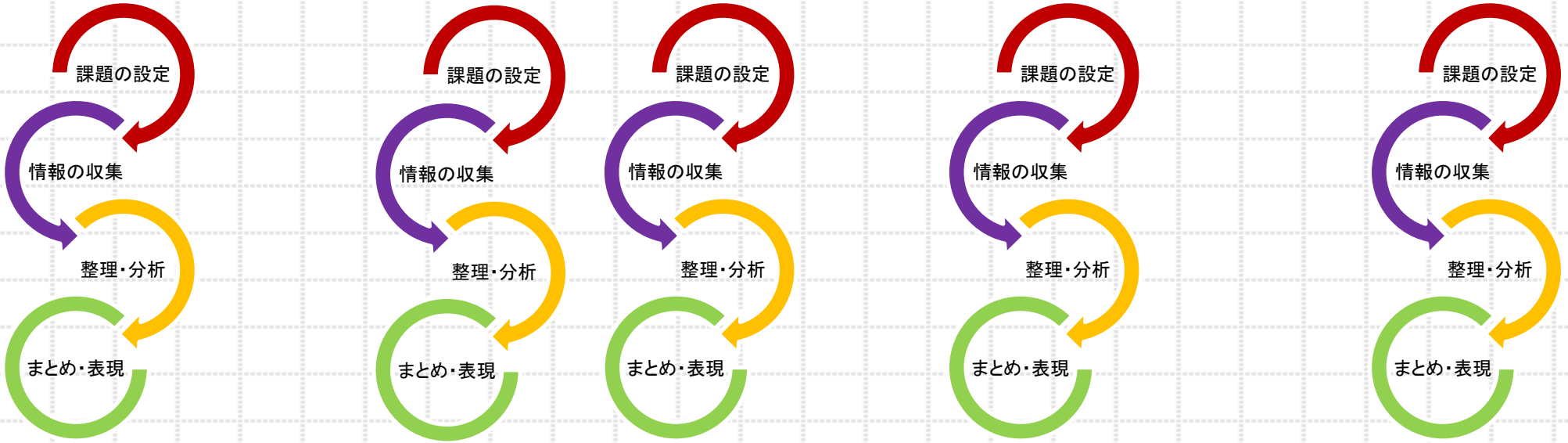
D
まとめ・表現

問題解決型・課題追究型　授業 デザイン

一単元（題材）

課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現

一単位時間



４つのサイクル掲示物

学習サイクル	取り組み方 ※見方・考え方はその場面でも意識する。	使う道具
課題設定	・単元の課題に対して、どのような流れで探究していくか考え、課題設定をする。	・スライド　など
情報の収集	・情報を集める。	・教科書（デジタル含む） ・資料集 ・本 ・インターネット （※教科書や本などで課題を解決できないときに使う。） など
	・集めた情報を記録する。	・フィグジャム ・マイ黒板（デジタル教科書） など

学習サイクル	取り組み方 ※見方・考え方はその場面でも意識する。	使う道具
課題設定	・単元の課題に対して、どのような流れで探究していくか考え、課題設定をする。	・スライド　など
情報の収集	・情報を集める。	・教科書（デジタル含む） ・資料集 ・本 ・インターネット （※教科書や本などで課題を解決できないときに使う。） など
	・集めた情報を記録する。	・フィグジャム ・マイ黒板（デジタル教科書） など
整理・分析	・集めた情報を「学習の視点」と照らし合わせながら整理・分析する。 ・様々な出来事と関連付けたり、総合的に考えたりする。	・フィグジャム ・マイ黒板（デジタル教科書） など
まとめ・発表	・単元の課題や毎時間の課題に沿って、振り返ったりまとめたりし共有する。 ・自分の課題が進んでいるか確認する。	・スプレッドシート ・スライドなど

A
課題の設定

教材教具・事象との出会い

⇒一人一人が「問い」と「課題」をもつ

「知りたい」
「調べたい」
「確かめたい」

つまずき「分からない」
確かめ「他の人は？」

つまずきの解消「分かった！」
確かめ「なるほど！」

B　情報の収集　へ

協働的な学び

ICT機器の利活用

B　情報の収集　へ

問題解決型・課題追究型　授業 の指導

A
課題の設定

教材教具・事象との出会い
⇒一人一人が課題「問い」と「課題」をもつ。

指導の観点

○ 「～について読み取ろう」「～について考えよう」「～について調べよう」という「呼びかけ目標」・「行動目標」にしない。

○一人一人が自分事として捉える。子供が考える必然性をもち、学習意欲を高めるための**「問い」を引き出す。**
「なぜ～なのだろうか」「どのように～だろうか」という疑問形

学習の記録（スプレッドシート）

A	B		F	G	H	I	J	K	L
【単元の目標】 どのような地域で水産業が行われ、水産業に関わる人々の努力や工夫、水産業を取り巻く問題や新たな取り組みを資料から読み取り、自分の考えをもちまとめることができる。		ったり、友達と学び合っ ることができた。			9月4日（水）教科書P96~101　資料集P36~43 A：学習課題ついて、資料を使いながら調べたり、友達の考えも参考にしたりしながら、解決することができた。 B：学習課題について資料を使いながら調べ、解決することができた。				A：学習 た。 B：学習
	学習シート			自己評価	学習課題	まとめ	ふりかえり		自己評価
17	https://docs.google.com/presentation/d/16KyA6lKhmPVKkEOVo2Y9_N0jvBdfbqzl	日本の周り るのかがわ としっかり	53	B	どういうふうに魚の加工をするのだろうか	魚の加工をされ、いろいろなものになり、お店の魚売り場には、いろいろな魚や、加工した食品が売られている。	友達と教え合い、知らなかったこともわかりました。まとめまでいかなたったので、今度まとめまで書きたいです。	52	A	どう魚
		きにいってもいいですよ。			友達にどんなところを教えてもらいましたか。そこも書ければ書いてください。				
18	https://docs.google.com/presentation/d/1cHVmzpi9bMtKyFknXZGpqQjBeO1dm6T		0	A	魚のとりかた　魚の加工がどのようになっているかを調べる	魚は色々な取り方で撮られている	知らなかったことも知れた	12	A	魚はど ろうか。
		と記録していきましょう。			特にどんなことを知ることができましたか。それをくわしく書いてくださいね。				
19	https://docs.google.com/presentation/d/15Eojh44uWcfBXqHdp6cKM1TkdW7t510f	く取れる理 て良かった たくさん調	54	A	魚の取り方はどのようにするのだろうか。	カツオは、一本釣りと、まきあみ漁で取れる。	今日は、カツオの釣り方がわかりました。まきあみ漁でも釣れるとわかりました。魚の取り方が終わって、少し漁港から食卓ができたので、次は、漁港から食卓を終わらせたいです。	82	A	魚の加 までは るのだ
		情報収集ができましたね。				次は残りの情報も集めていきましょう。まとめもがんばってください。			
20	https://docs.google.com/presentation/d/174KU927ALbwvRExykuT_I0AWWR2iHA	書でたく きた。	25	A	魚はどのように海や川から釣られていくのだろうか。	魚は夏に三陸沖まで移動してきて日本近海にきて、小魚を食べ大きくなった魚は一本釣りで釣られるか、巻き網で一気に多くの魚を撮る撮り方がある。	今回魚の釣り方を調べたけれどそれで魚は漁船から漁港までそのまま運ばれ全国各地へはトラックで運ばれることがわかった。でもトラックで全国各地へどうやって運ぶのか疑問に思った。	85	A	魚はど な食べ

B
情報の収集

「問い」の解決のため、調べる・考える
⇒調べたり考えたりしたことを書き出す

協働的な学び

ICT機器の利活用

他者参照
・他の人の新しい情報（調べたこと考えたこと）を知り参考にする。
・自分のものを確かめる

表にして・・スプレッドシート
付箋にして・・Figjam
プレゼンのページにして・・スライド

「問い」の解決のため、調べる・考える
⇒調べたり考えたりしたことを書き出す

「問い」の解決のため、調べる・考える
⇒調べたり考えたりしたことを書き出す

集めた情報を共有している様子

「問い」の解決のため、調べる・考える
⇒調べたり考えたりしたことを書き出す

人たちから話を聞くことにしました。

町内の下村さんの話

子どものころからお祭りが大好きです。多くの人が集まって一つの行事をもり上げていくことが楽しいです。地域に古くから住む人の思いが，新しく住み始めた人や他の地域の人にうまく伝わらないことがあるので，話し合いを何度もしています。

大祭副委員長の古川さんの話

わたしたちのまちが伝統あるくらやみ祭をささえてきたことをたいへんほこりに思っています。

みんなに楽しんでもらえる祭りを将来に伝えていくために，特に安全面に気をつけながら，時間をかけてじゅんびをしています。

C
整理・分析

書き出した調べたこと・考えたことを整理・分析する

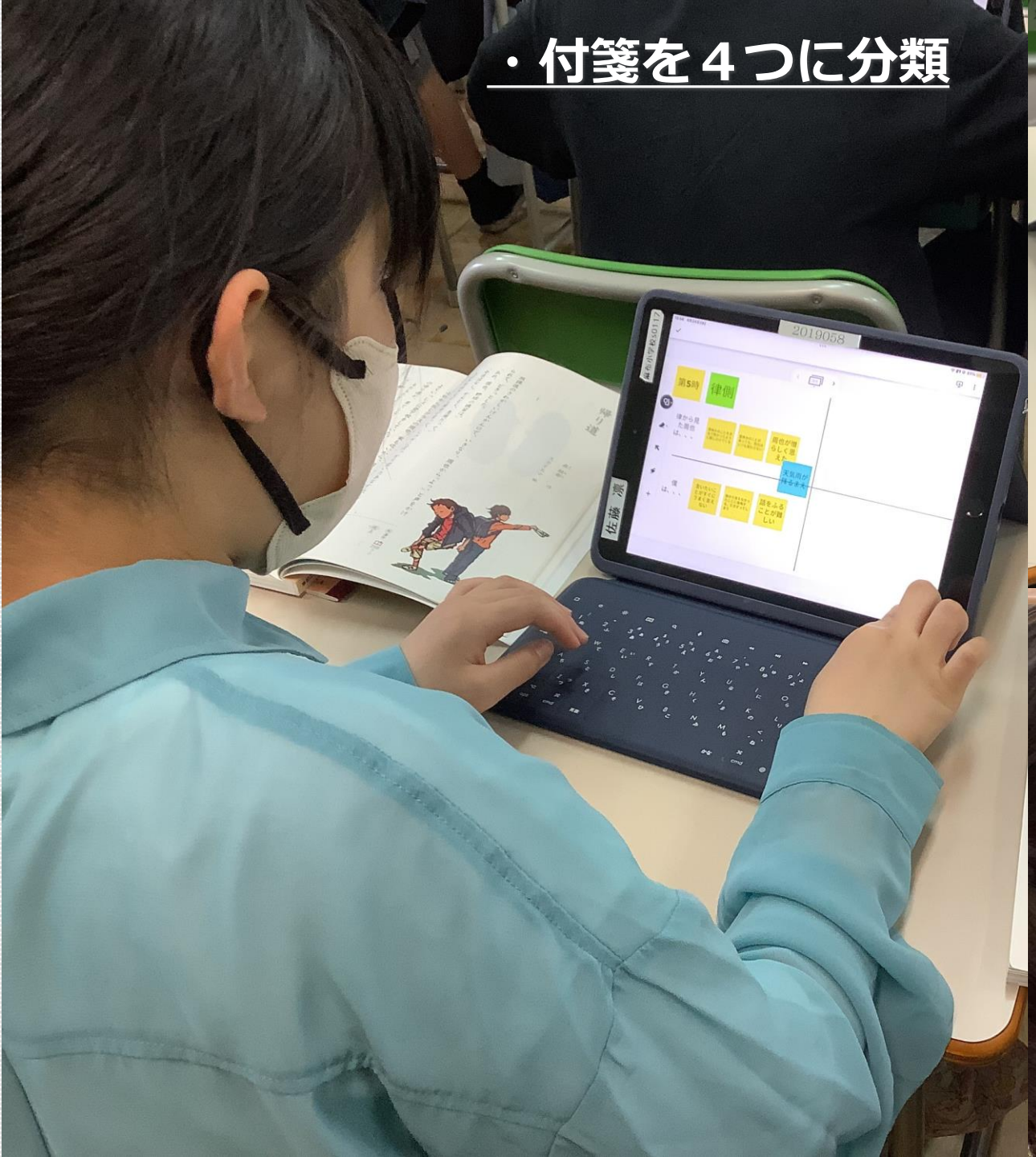
思考ツールの活用

協働的な学び

ICT機器の利活用

他者参照
・他の人の新しい整理・分析の仕方を知り参考にする。

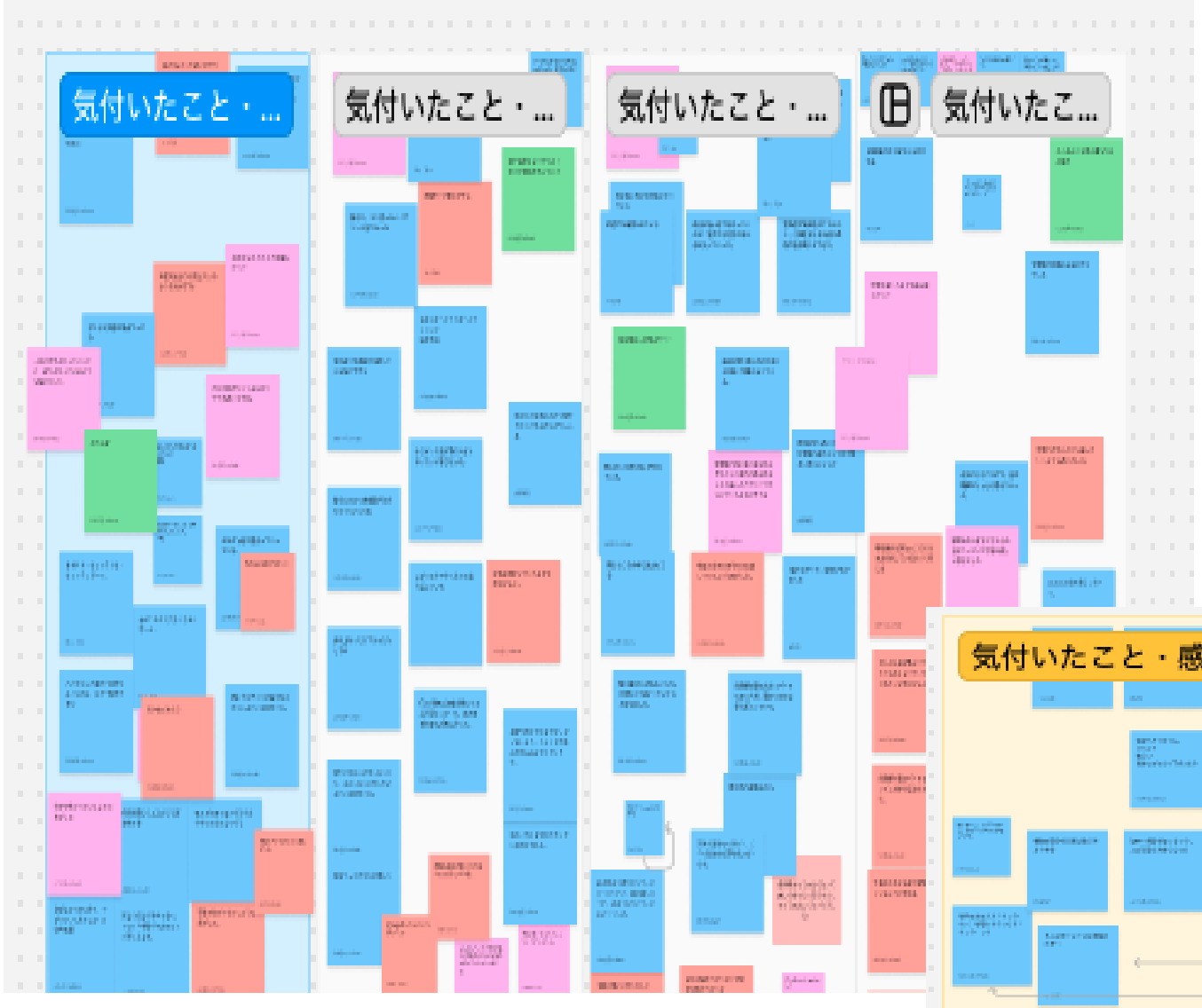
表にして・・スプレッドシート
付箋の整理・分類・・Figjam
プレゼンのページにして・・スライド

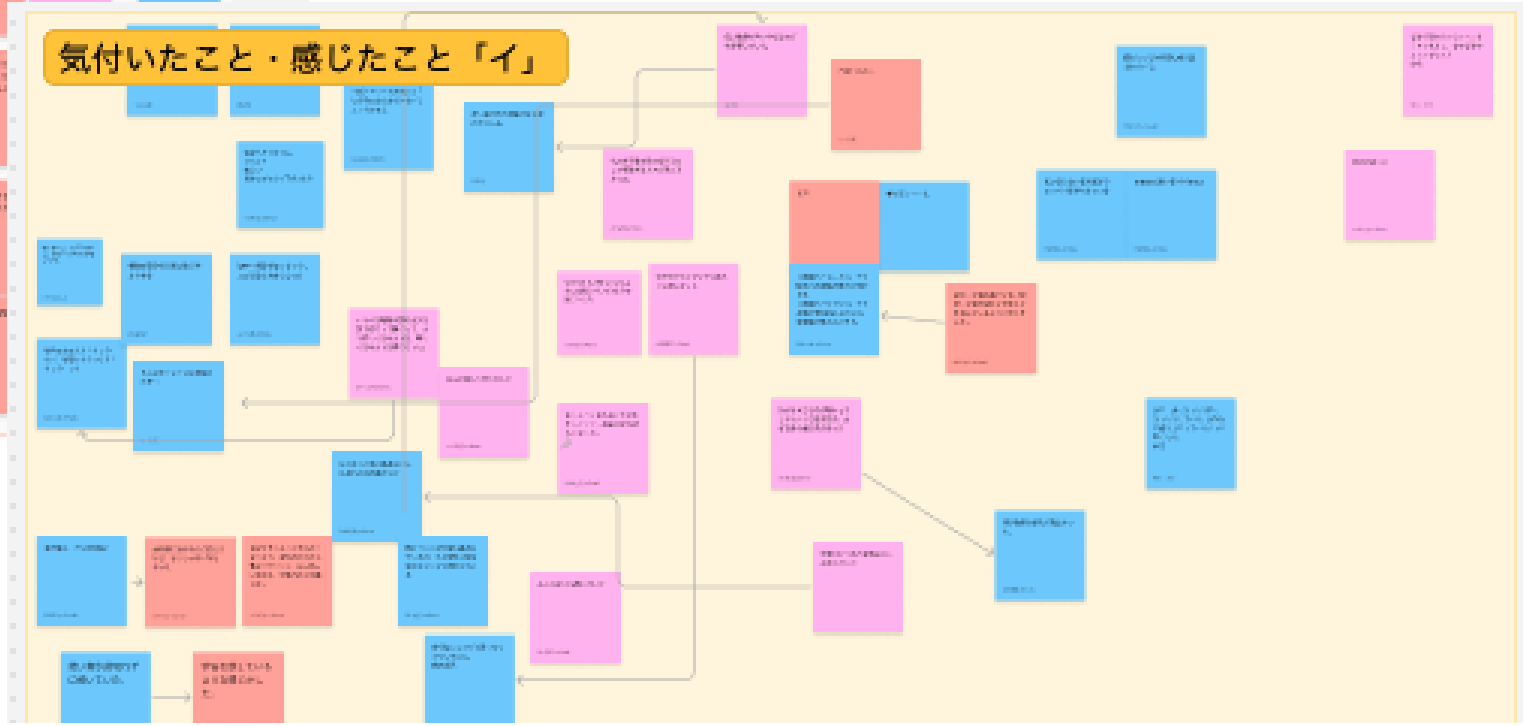

・付箋を４つに分類
2019058
第5時
律側

・クラゲチャートで共通項を抽出
しゅうやのきもち

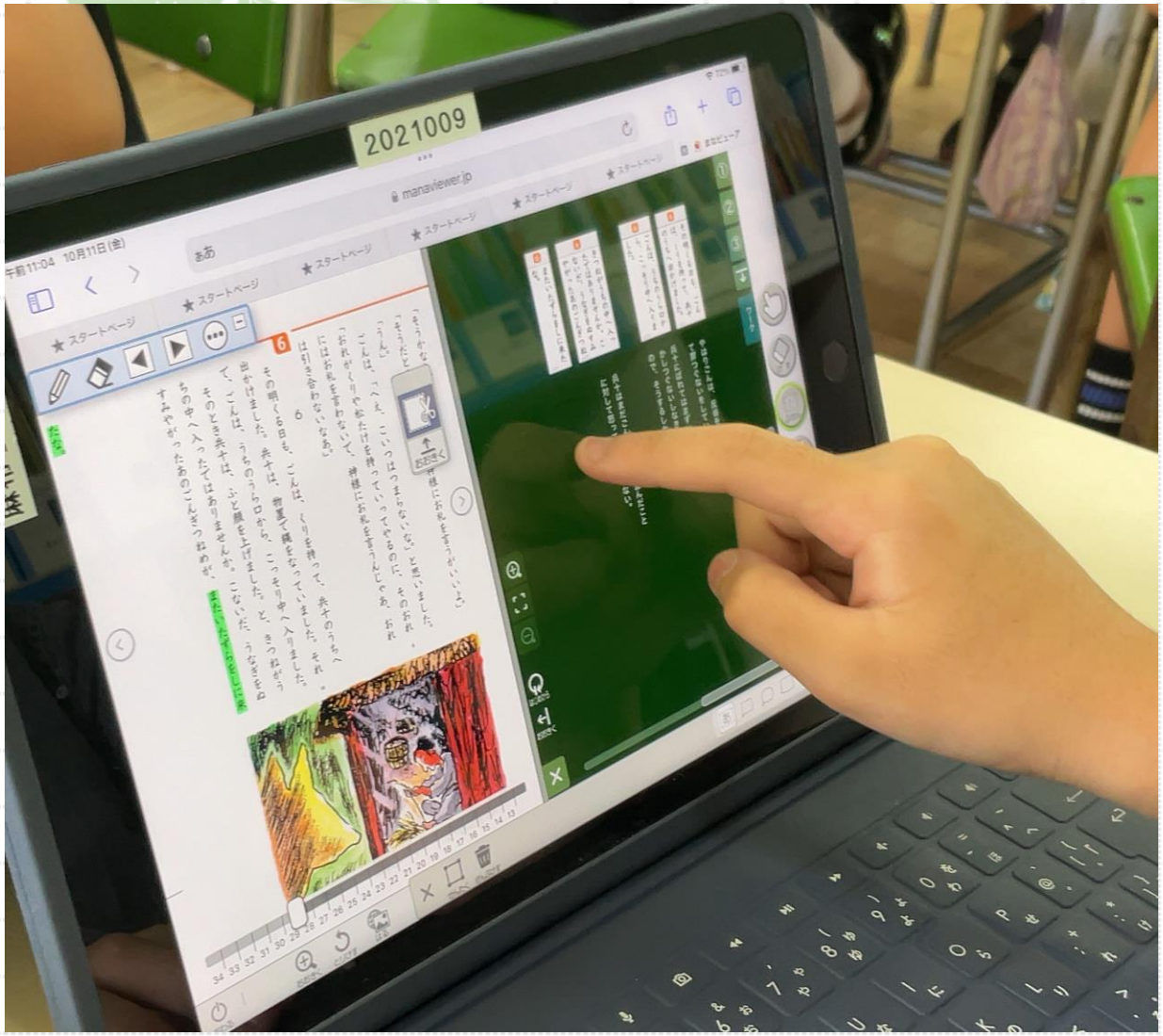
・ベン図で分類
2021083

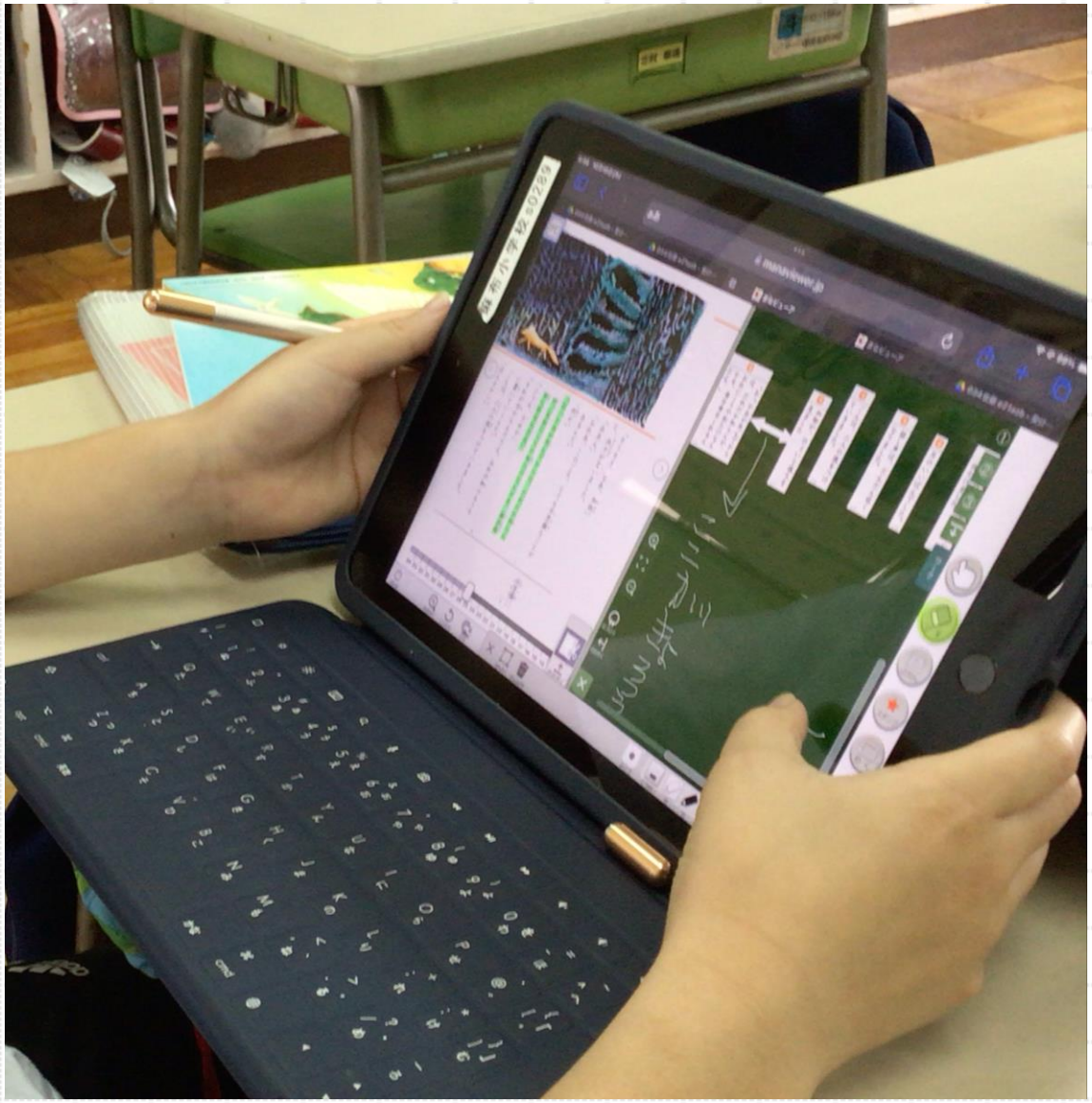
FigJamを使った
情報収集・整理分析（共同編集）





デジタル教科書（マイ黒板）





問題解決型・課題追究型　授業 の指導

B
情報の収集

C
整理・分析

D
まとめ・発表

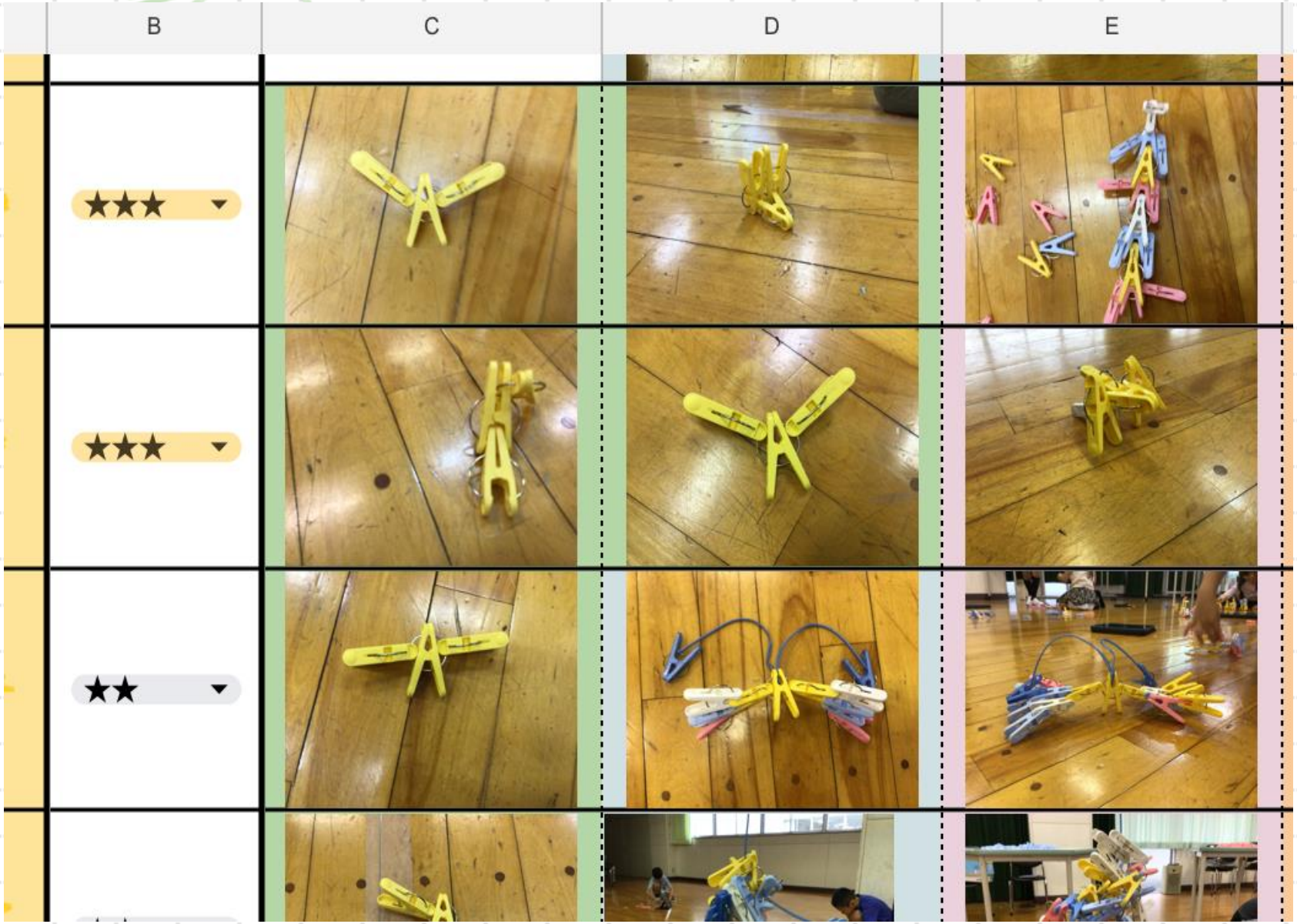
〇児童のリアルタイムの**学習状況を把握**する。
〇**他者参照をさせる声かけ**を丁寧にしていく。
　「〇〇さんのが参考になるよ」
〇他者参照できる学級文化・雰囲気を醸成する。
　⇒「必要ならば離席してもよい」「なりたい子とグループになってよい」
　　「良い例を真似してもよい」
〇**学習を活性化させる声かけ**

教師の声かけが
児童の協働学習
を促す。

↓

学びが深まる

学習の記録（スプレッドシート）



児童の学習状況を
リアルタイムで把握

・児童の言葉を拾う
・児童をサポート

D
まとめ・発表

学習課題のまとめを文章化する
伝えるための成果物を作成する

協働的な学び

ICT機器の利活用

他者参照
・他の人の新しい考えの内容・まとめ方を知り
　参考にする。

表にして・・スプレッドシート
プレゼンのページにして・・スライド
ドキュメント・・文章化

学習の記録（スプレッドシート）

A	B		F	G	H	I	J	K	L	
【単元の目標】 どのような地域で水産業が行われ、水産業に関わる人々の努力や工夫、水産業を取り巻く問題や新たな取り組みを資料から読み取り、自分の考えをもちまとめることができる。		ったり、友達と学び合っ ることができた。			9月4日（水）教科書P96~101　資料集P36~43 A：学習課題ついて、資料を使いながら調べたり、友達の考えも参考にしたりしながら、解決することができた。 B：学習課題について資料を使いながら調べ、解決することができた。					A：学 た。 B：学
	学習シート			自己評価	学習課題	まとめ	ふりかえり		自己評価	
17	https://docs.google.com/presentation/d/16KyA6lKhmPVKkEOVo2Y9_N0jvBdfbqzl	本の周りのかがわしっかり	53	B	どういうふうに魚の加工をするのだろうか	魚の加工をされ、いろいろなものになり、お店の魚売り場には、いろいろな魚や、加工した食品が売られている。	友達と教え合い、知らなかったこともわかりました。まとめまでいかなたったので、今度まとめまで書きたいです。	52	A	どう魚
		にいってもいいですよ。				友達にどんなところを教えてもらいましたか。そこも書ければ書いてください。				
18	https://docs.google.com/presentation/d/1cHVmzpi9bMtKyFknXZGpgQjBeO1dm6T		0	A	魚のとりかた　魚の加工がどのようになっているかを調べる	魚は色々な取り方で撮られている	知らなかったことも知れた	12	A	魚はど ろうか
		記録していきましょう。				特にどんなことを知ることができましたか。それをくわしく書いてくださいね。				
19	https://docs.google.com/presentation/d/15Eojh44uWcfBXqHdp6cKM1TkdW7t510f	取れる理 良かった くさん調	54	A	魚の取り方はどのようにするのだろうか。	カツオは、一本釣りと、まきあみ漁で取れる。	今日は、カツオの釣り方がわかりました。まきあみ漁でも釣れるとわかりました。魚の取り方が終わって、少し漁港から食卓ができたので、次は、漁港から食卓を終わらせたいです。	32	A	魚の加 までは るのだ
		報収集ができましたね。				次は残りの情報も集めていきましょう。まとめもがんばってください。				
20	https://docs.google.com/presentation/d/174KU927ALbwvRExxkuT_I0AWWB2iHA	でたく た。	25	A	魚はどのように海や川から釣られていくのだろうか。	魚は夏に三陸沖まで移動してきて日本近海にきて、小魚を食べ大きくなった魚は一本釣りで釣られるか、巻き網で一気に多くの魚を撮る撮り方がある。	今回魚の釣り方を調べたけれどそれで魚は漁船から漁港までそのまま運ばれ全国各地へはトラックで運ばれることがわかった。でもトラックで全国各地へどうやって運ぶのか疑問に思った。	35	A	魚はど な食べ

振り返りの視点

ふりかえり（１・２ねんせい）	
かんがえたこと きづいたこと	きょうの じゅぎょうで …と かんがえました。 …に きづきました。
おすすめ	ぼく／わたしの〇〇の おすすめポイントは…
くらべる	ともだちの かんがえと くらべて ・おなじところは… ・ちがうところは…
ぎもん	ぎもんに おもったことは… ぼく／わたしは…だと おもいます。
へんか	…から～に かんがえが かわりました。
つなげる	これまでのがくしゅうと くらべて… おうちでも…
つぎのじかん	つぎのじかんは…

振り返りの視点（中・高学年）	
考えたこと 気付いたこと	今日の授業で…と考えました。 …に気付きました。
要点 （おすすめ）	僕／私の〇〇の おすすめポイントは…
比較 （くらべる）	友達の考えとくらべて ・同じところは… ・ちがうところは… ↓ ・…という考えになっとくしました。 ・僕／私はその考えに反対で…
疑問	疑問に思ったことは… 僕／私は…だと思います。
変化	…から～に考えが変わりました。
関連付ける	これまでの学習とくらべて… 日常生活でも…
見通しをもつ	次の時間は…

デジタル新聞（スライド）

みんなで支える祭り

～武蔵府中くらやみ祭～

くらやみ祭を支える人

くらやみ祭りは人々の支えによって受け継がれています。

●町内、青年会、講中、大祭委員などの組織や助ける団体などがあります。

地域の人々たちは提灯調べや太鼓の準備をしています。地域の人対違いの方も協力しているそうです。

町内＝神社周辺の住人の組織

青年会＝府中の各町ごとの若手の会

講中＝くらやみ祭りを助ける団体

大祭委員＝祭りを企画し、祭りを安全に進めるための組織

くらやみ祭の準備は5ヶ月間あります。

1月は町内と講中で新年会をします。

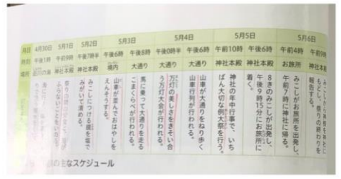
2月には町内が提灯調べをします。全ての提灯が壊れてないか細かく点検するそうです。

3月は町内が講中をまわって、挨拶をします。

4月は会議、ササラづくり、太鼓の準備をします。ササラは自分の手で作るらしいです!!太鼓の準備では太鼓に見立てたもので、準備や調練するそうです。

5月は本番もあり、祭りでの反省会などを開きます。来年に向け反省しているのだと思います。

作成者：斉藤　凛



武蔵府中くらやみまつり

くらやみ祭は4月30日から5月6日までの１週間もあるお祭りです。上の表は祭りがある１週間のスケジュールです。

4月30日から5月2日までは祭りに向けての準備などです。体などを綺麗にして、祭りで雨が降らない事を祈ったりしたりします。

5月3日はおはやしを演奏したり馬に乗って大通りを走ったりします。この大通りを馬で走ることをこまくらべといい、昔の服装を着て大通りを走ります。

5月4日では万灯大会という万灯の

② 万灯大会

これはサンプルテキストです　1

受け継いできた人たち

祭りに参加する人たちのために、※会所があります。

会所＝祭りに参加する人達が集まり、交流する場所がいくつもあります。

会所は神社のあたりに多いです。

会所で挨拶をするそうです。仲を深めたりするためだと思います。

町内の方のお話によると昔からやっており、話し合いなどもしてるそうです。新しく入って来た人たちにわかってもらうためやっているのだと思います。

大祭副委員長の話もありました。祭りを続けるために安全面に気をつけているそうです。

なので太鼓の準備や提灯調べをしているのだと思います。

みんなが楽しく祭りができるよう頑張っているのがこの教科書の文章を読んでわかりました。

⛩くらやみ祭の歴史⛩

くらやみ祭は「武蔵の国」の中心だった府中市の大国魂神社の祭りで、1000年以上前につくられた神社が、大国魂神社です。「総社」「六所宮」と言われていました。武蔵の国の6つの大きな神様をまつりました。戦争の時代もずっとあった神社だそうです。

美しさを競い合う大会が行われます。

5月5日には神社の年中行事で一番大切な例大祭を行います。

5月6日みこしがお旅所を出発し神社に帰ります。

そして、みこしから神様を神社に戻し、祭りの終わりを報告するそうです。

感想

私は、この学習で祭りはみんなを楽しませるために色々な工夫をしてみんながずっと遊べるように受け継いできているのですごいと思いました。

私はまつりにはあまり行かない方で、なぜかというと人がいっぱいいるからです。なんだか祭りと聞くとワクワクするし、ウキウキするし盆踊りや、子供のための遊びや、おみこしと大きな太鼓を私は思いだします。その中でも事故が起きないように安全面に気をつけてる人や話し合いをしたりする人が頑張っている事を知ると行こうかなという気分になるし、すこしだけ楽しみが大きくなるし、ほかの祭りやくらやみ祭りに行って他のすごいところを探したいです。

教科書を見ると他にも私たちが住んでいるところの近くにも文化財があることがわかりました。例えば港区の「迎賓館赤坂離宮」など私はこの辺りに住んでるのにここがどこにあるかわかりません。

他にもみんなが知っている「浅草寺二天門」など台東区は港区からすこし遠いいですが近くにあるので、行こうと思います。

これはサンプルテキストです　2

私は、この学習で祭りはみんなを楽しませるために色々な工夫をしてみんながずっと遊べるように受け継いできているのですごいと思いました。

私はまつりにはあまり行かない方で、なぜかというと人がいっぱいいるからです。なんだか祭りと聞くとワクワクするし、ウキウキするし盆踊りや、子供のための遊びや、おみこしと大きな太鼓を私は思いだします。その中でも事故が起きないように安全面に気をつけてる人や話し合いをしたりする人が頑張っている事を知ると行こうかなという気分になるし、すこしだけ楽しみが大きくなるし、ほかの祭りやくらやみ祭りに行って他のすごいところを探したいです。

教科書を見ると他にも私たちが住んでいるところの近くにも文化財があることがわかりました。例えば

デジタル新聞一覧（スライド）

1

2

3

4

5

6

授業改善 の
3つのフレーム

学習の流れを児童が理解している
（学習過程のマネジメント）

学習状況をリアルタイムで共有している
（情報の共有ツールの利用・協働化へ）

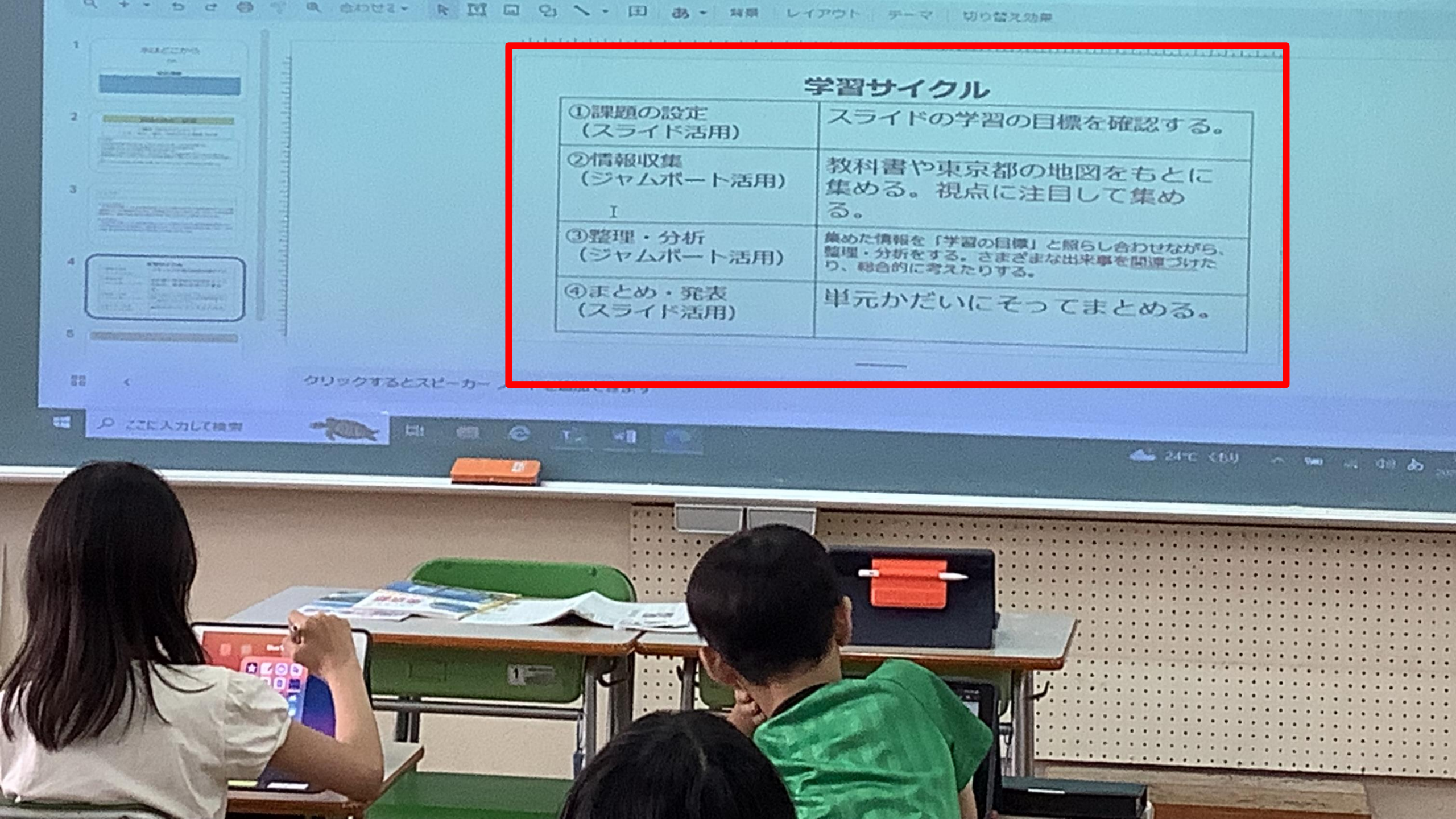
学習形態・手段を自由に選択している
（個別最適な学び）

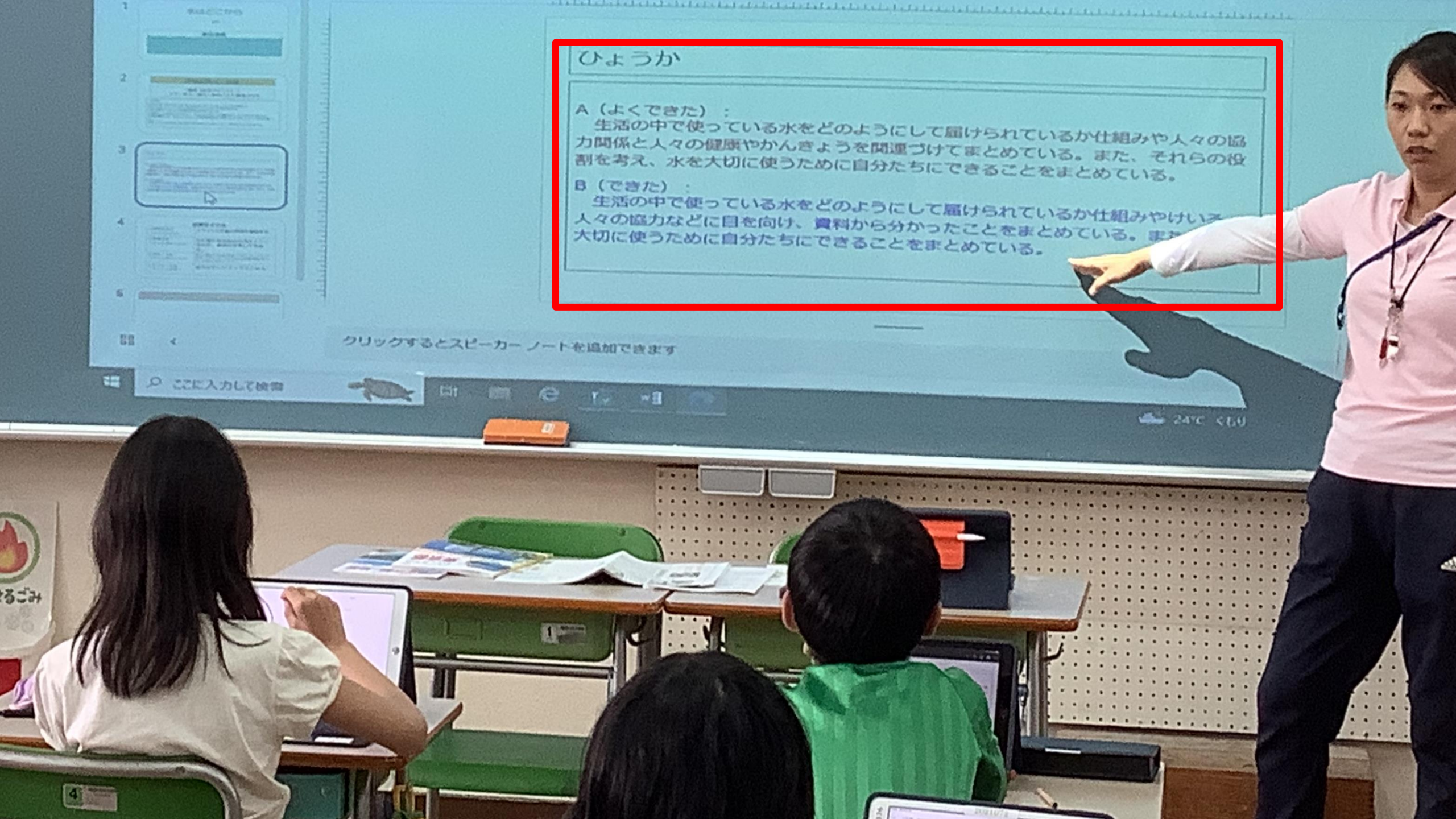
授業改善 の
３つのフレーム

学習の流れを児童が理解している
（学習過程のマネジメント）

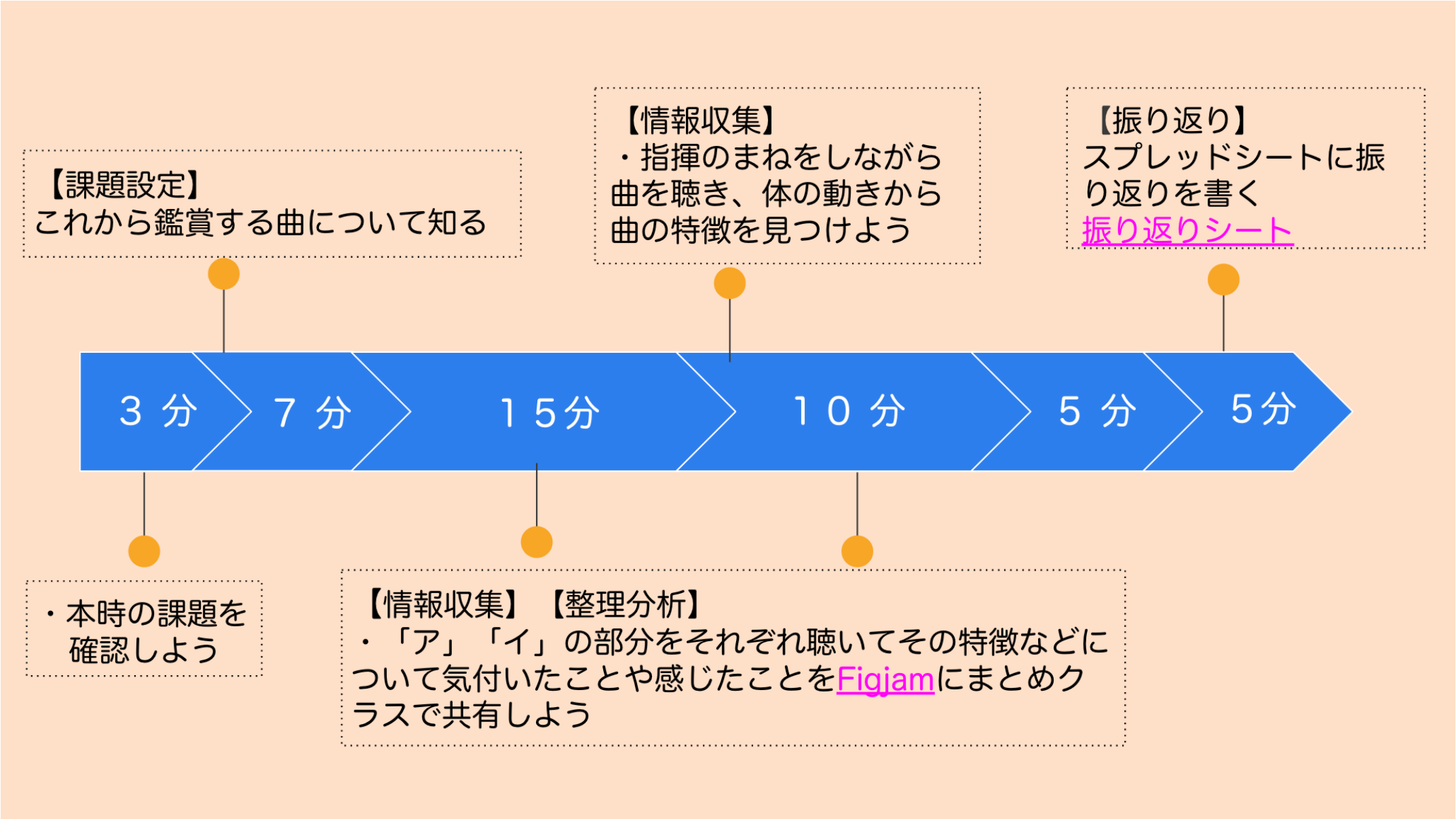
学習状況をリアルタイムで共有している
（情報の共有ツールの利用・協働化へ）

学習形態・手段を自由に選択している
（個別最適な学び）


学習サイクル
①課題の設定
（スライド活用）
スライドの学習の目標を確認する。
②情報収集
（ジャムボード活用）
教科書や東京都の地図をもとに集める。視点に注目して集める。
③整理・分析
（ジャムボード活用）
集めた情報を「学習の目標」と照らし合わせながら、整理・分析をする。さまざまな出来事を関連づけたり、総合的に考えたりする。
④まとめ・発表
（スライド活用）
単元かだいにそってまとめる。


ひょうか
A（よくできた）：
生活の中で使っている水をどのようにして届けられているか仕組みや人々の協力関係と人々の健康やかんきょうを関連づけてまとめている。また、それらの役割を考え、水を大切に使うために自分たちにできることをまとめている。
B（できた）：
生活の中で使っている水をどのようにして届けられているか仕組みやけいさ
人々の協力などに目を向け、資料から分かったことをまとめている。ま
大切に使うために自分たちにできることをまとめている。
クリックするとスピーカー ノートを追加できます
ここに入力して検索
24℃ くもり

学習の流れ（スライド）


【課題設定】
これから鑑賞する曲について知る
【情報収集】
・指揮のまねをしながら曲を聴き、体の動きから曲の特徴を見つけよう
【振り返り】
スプレッドシートに振り返りを書く
振り返りシート
３ 分
７ 分
１５分
１０ 分
５ 分
５分
・本時の課題を確認しよう
【情報収集】【整理分析】
・「ア」「イ」の部分をそれぞれ聴いてその特徴などについて気付いたことや感じたことをFigjamにまとめクラスで共有しよう

評価（スライド）

第１回

【課題設定】【情報収集】【整理分析】

・「ハンガリー舞曲 第５番」を様々な方法でじっくりと聴き、クラス全体でFigjamを使ってまとめ、曲の特徴などを理解する。

【評価】

B： 音楽をじっくり聴き、聴き取ったこと（気付いたこと）や感じ取ったこと（感じたこと、思ったこと、考えたこと）を書くことができる。

A：「ア」と「イ」それぞれの部分について、速度、強弱、調、反復、変化に着目し、聴き取ったことと感じ取ったことを関連付けて具体的に書いたり詳しく発言したりすることができる。

第２回

【整理分析】【まとめ・表現】

・曲の特徴について第１回でまとめたFigjamを参考にしながら、スプレッドシートに個人でまとめる。
・曲全体を通して聴き、そのよさやおもしろさなどについてスライドやスプレッドシートに紹介文としてまとめる。

【評価】

B： 聴き取ったこと（気付いたこと）や感じ取ったこと（感じたこと、思ったこと、考えたこと）に自分が考える曲のよさや面白さを付け加えて、紹介文にまとめることができる。

A：速度、強弱、調、反復、変化などを聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考えたことを生かして、曲のよさやおもしろさ、その理由について、自分の考えを具体的に紹介文にまとめることができる。

複線型授業　導入および板書計画

＜ 導入の工夫 ＞

1　めあての確認

2　本日の流れの確認

課題設定　7

情報収集　10

整理・分析　12

・

・

・

時間を児童と設定します。

タイマーなどでアラートすると次の学習に移りやすい

情報収集の際に必要な情報（主に情報元）を予め板書しておく。

＜ 板書の工夫（横書きの例） ＞

5/29

め　○○○○○○○○○○○○○

課題設定　7

情報収集　11

（教）p.10-12
（プ）

整理・分析　7

まとめ　15

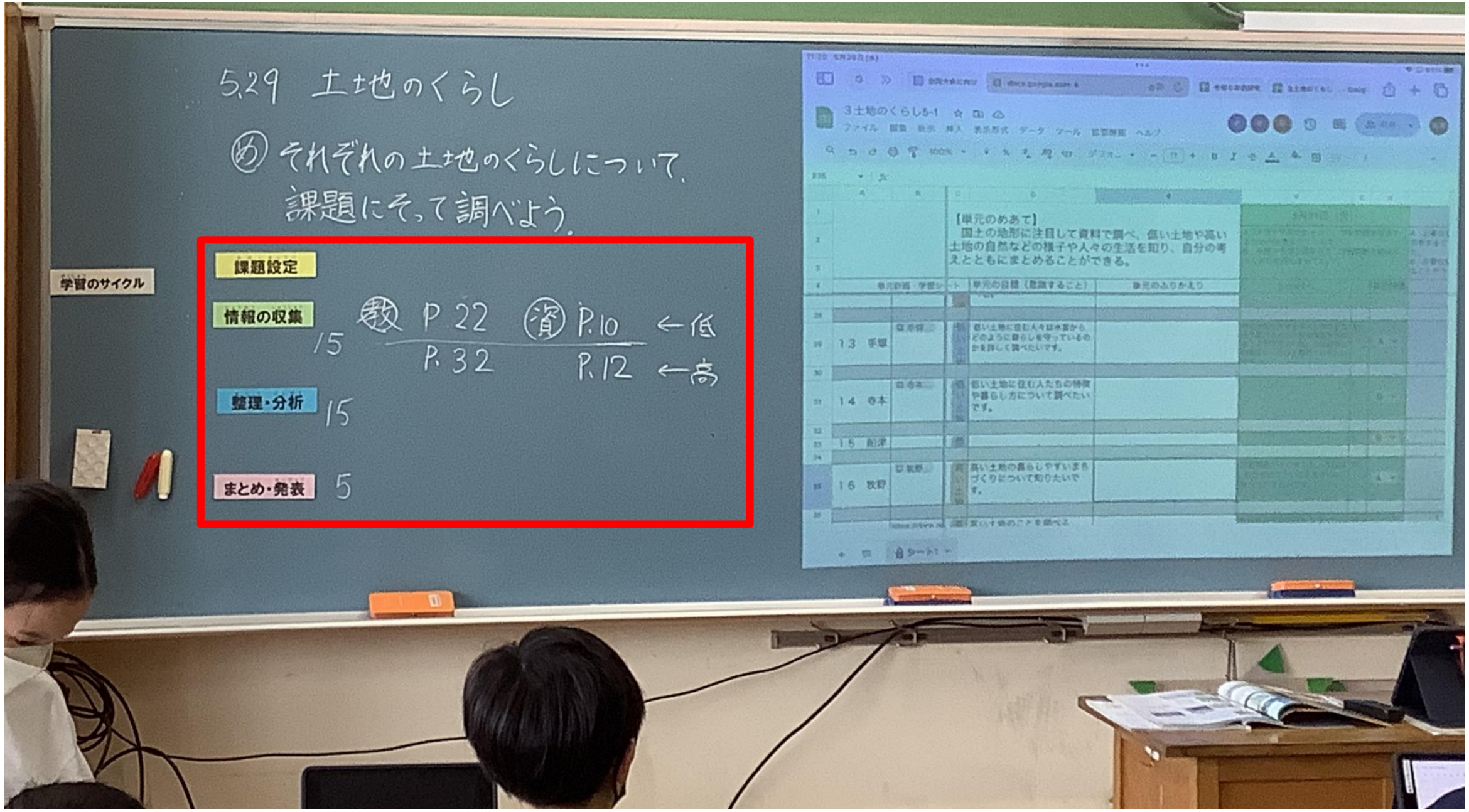
ふりかえり　5

【スクリーン】

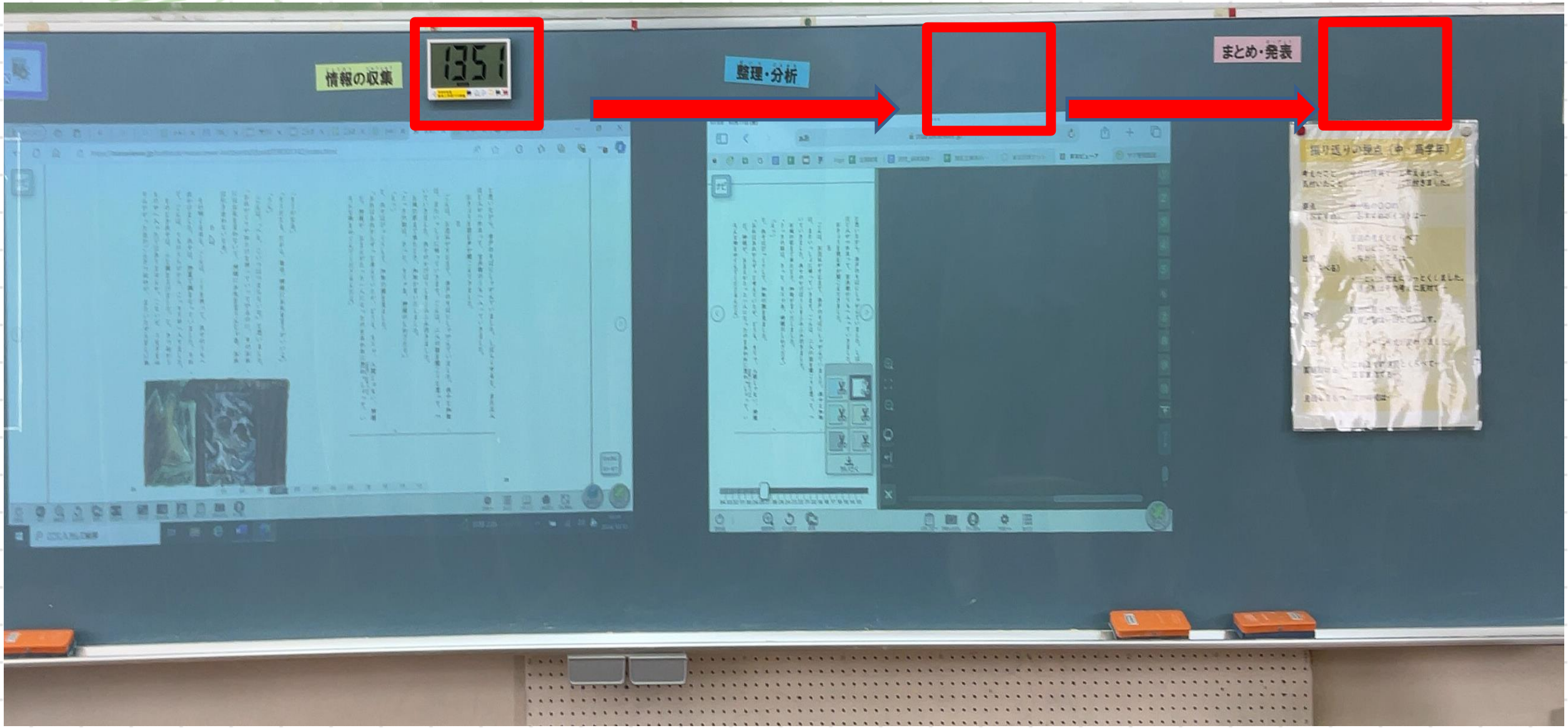
参考になる児童を映し出す。

本時の授業に関すること

タイムマネジメント


5.29 土地のくらし
め それぞれの土地のくらしについて、
課題にそって調べよう。
学習のサイクル
課題設定
情報の収集
15
教 P.22 資 P.10 ←低
P.32 P.12 ←高
整理・分析
15
まとめ・発表
5
【単元のめあて】
国土の地形に注目して資料で調べ、低い土地や高い土地の自然などの様子や人々の生活を知り、自分の考えとともにまとめることができる。

タイムマネジメント

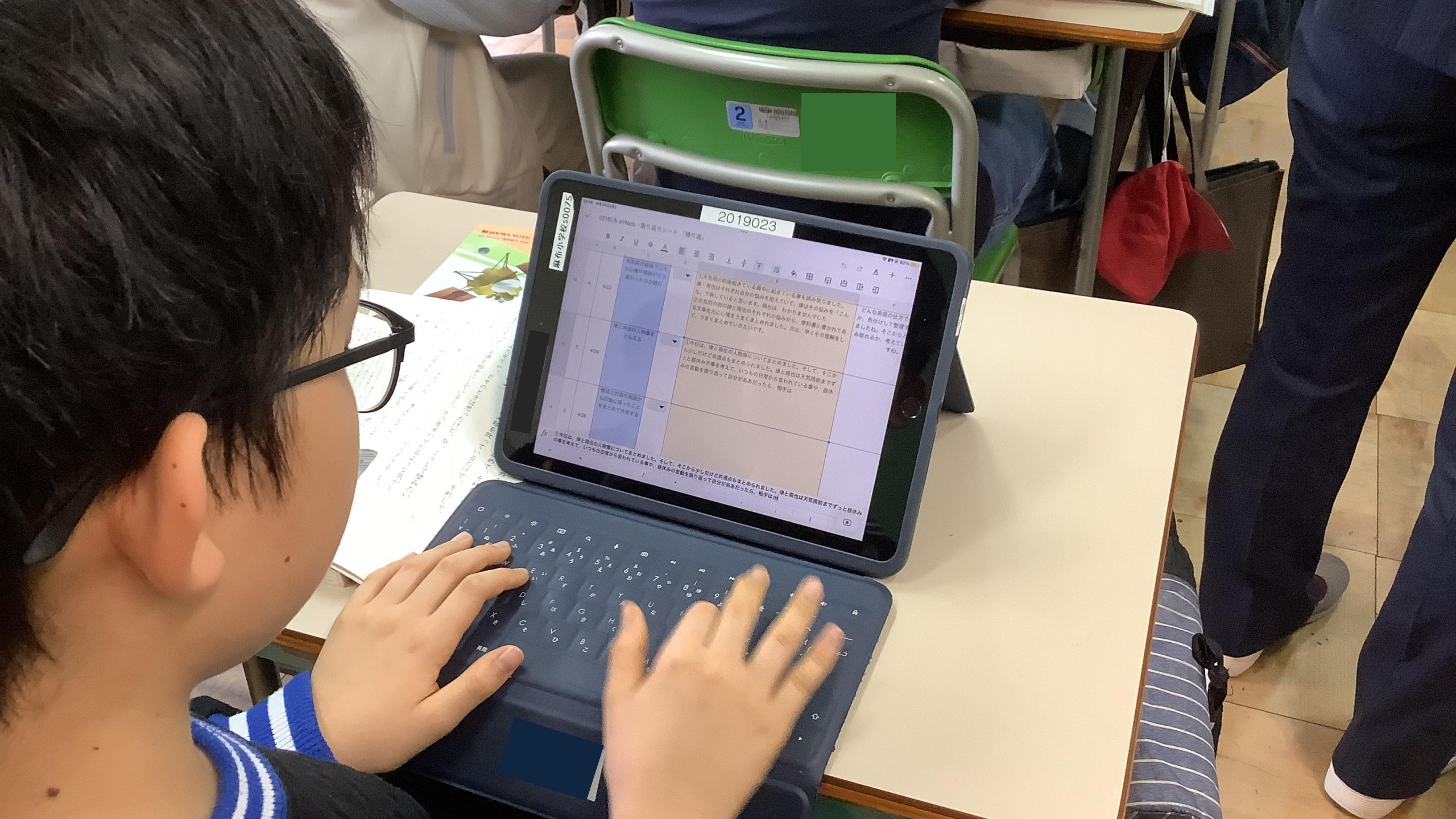


授業改善 の
3つのフレーム

学習の流れを児童が理解している
（学習過程のマネジメント）

学習状況をリアルタイムで共有している
（情報の共有ツールの利用・協働化へ）

学習形態・手段を自由に選択している
（個別最適な学び）


2019023
麻布小学校S0075

授業改善 の
３つのフレーム

学習の流れを児童が理解している
（学習過程のマネジメント）

学習状況をリアルタイムで共有している
（情報の共有ツールの利用・協働化へ）

学習形態・手段を自由に選択している
（個別最適な学び）

複線型授業B：学習過程（情報収集、まとめ・発表）、学習形態

低学年
中学年

学習のサイクル	課題設定	情報収集	整理・分析・まとめ	振り返り
個別・協働・一斉	一斉	個別⇔協働 学び合い 他者参照	個別⇔協働 学び合い 他者参照	個別

【児童】

A

B

C

【複線】
○児童一人一人が選択した方法で情報を収集する。

【複線】
○児童一人一人が選択した方法でまとめたり発表したりする。

・教科書　・資料
・インターネット検索
・インタビュー

・シンキングツール
・Googleスライド
・Googleスプレッドシート
・Googleドキュメント

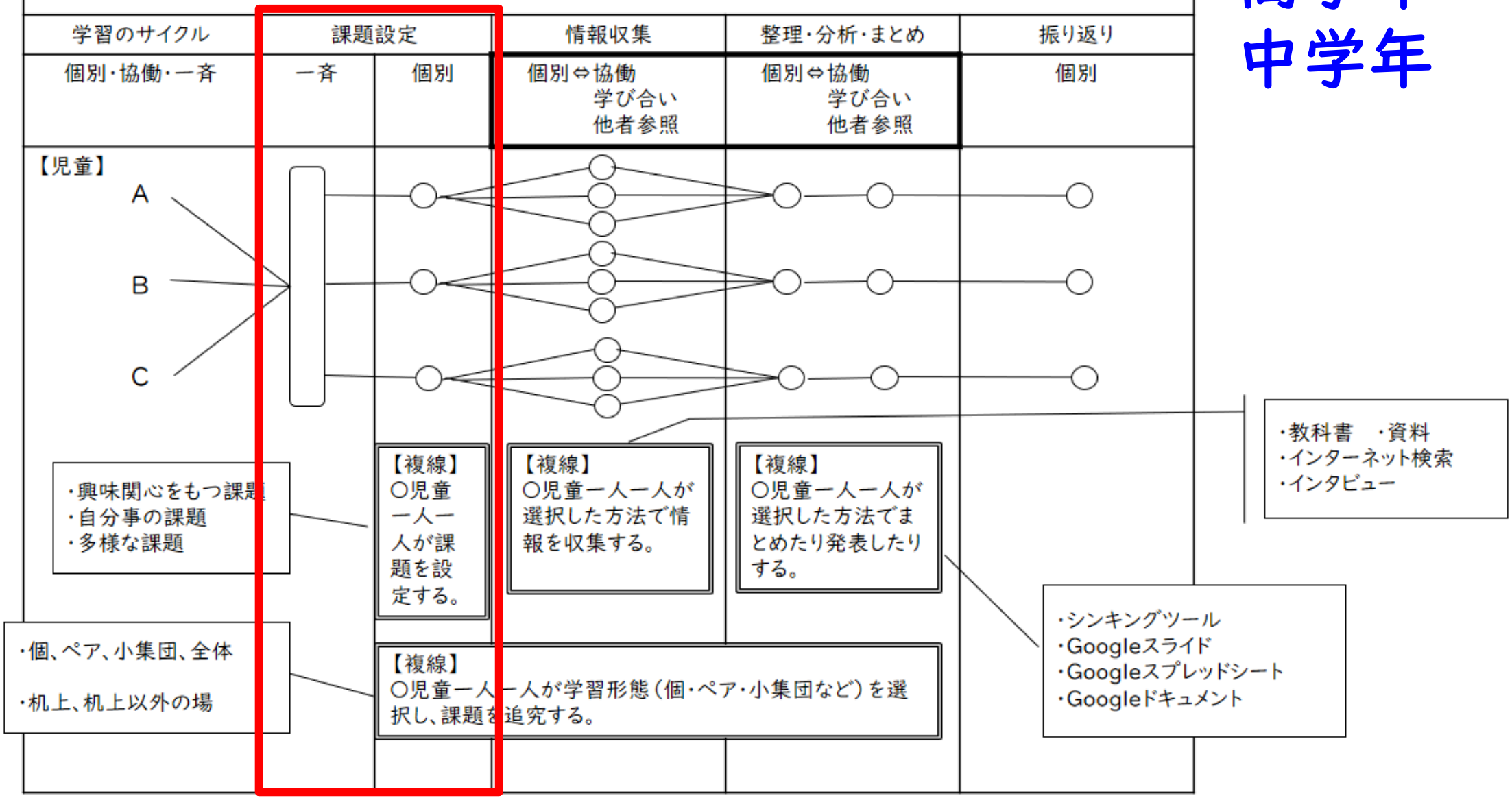
・個、ペア、小集団、全体

・机上、机上以外の場

【複線】
○児童一人一人が学習形態（個・ペア・小集団など）を選択し、課題を追究する。

複線型授業A：学習課題（課題設定）、学習過程（情報収集、整理・分析、まとめ・発表）、学習形態

高学年
中学年



3　成果と課題

成果（児童の変容）

○児童が自ら見通しをもって学習に取り組めるようになった。

○学習状況に合わせて、児童が必要に応じて学び合う場面が増えた。

安心感

自尊心の高まり

新しい考えの創造

→一斉型の授業よりも…

学習の理解度の深まり

知識の定着

課題

▲学び合いの場面に応じた児童の関係づくり

▲学びたくなるような課題設定